

天涯孤独の放浪の芸能者おろくが母恋の身の上を語り、浄瑠璃を語る。
石牟礼道子の癒しの浄瑠璃浄土、祈りと歌の浄瑠璃芝居。

「三界火宅のみなし子が、かかさんや兄者を思い出そうとすれば、
じよろりことばで思い出す。じよろりがわたいやら、わたいがじよろりやら。
こうして、酒にも酔いまする」

一部 詩「花を奉る」石牟礼道子 石橋敬子

石牟礼道子の芸能世界 解説 笠井賢一

「西南役伝説」と「六道御前」

休憩15分(換気)

二部 一人芝居『六道御前』

石橋敬子 地歌三味線 笠井賢一
篠山 設楽 佐藤 岳晶
衣裳 細田ひな子
演出 笠井賢一

石牟礼道子さんは代表作ともいえる新作能『不知火』(2002年東京
2003年熊本、2004年水俣親水緑地奉納上演)を「現代文明に倒れた人間の
魂と自然の命を救うには言葉を超えた祈りの音楽が必要だ」という
思いで書かれました。私は『不知火』を演出して以来、石牟礼文学の
全てに流れている詩と歌と劇の豊穡さ―芸能の力を作品化する
仕事を続けてきました。

2018年には『浄瑠璃「不知火」座―石牟礼道子劇場』を立ち上げ、
この『六道御前』を石牟礼さんにご覧いただきました。その時は金子
あいさんが主役でした。今回は九州に出自を持つ石橋敬子さんが
『六道御前』を能舞台で演じます。この作品には石牟礼道子の芸能者
への深い眼差しが結晶しています。天涯孤独の主人公の魂の輝きは
私たちに深い感動をもたらしてくれます。
アトリエ花習 笠井賢一

石橋敬子 学生時代に京都大学劇団創造座に参加し、サルトル
作「悪魔と神」に出演。能を観世流鶴澤雅師、鶴澤久に師事し
能「船弁慶」、「葵上」などを舞う。この鏡仙会の能舞台で201
8年三島由紀夫作の近代能楽集の「葵上」と「弱法師」を
「貴種流離譚」というキーワードで繋げる上演の主演、翌年にも
同じく「綾の鼓」と「卒塔婆小町」を「愛の不可能性」という
キーワードで繋ぐ上演の主演を、笠井賢一演出で演じる。

佐藤岳晶 パリ国立高等音楽院チクリチュール(作曲理論)科修
了。近世邦楽の研究において、東京藝術大学大学院音楽文化学
専攻修了(博士(学術))。地歌箏曲を二代米川文字(人間国宝)
師に師事(芸名:佐藤文岳晶)、長唄を今藤尚之師に学ぶ。西洋
音楽と近世邦楽を横断する作曲・演奏活動を行う。石牟礼文学
への作曲に、浄瑠璃「不知火」われ、蒼き苦海の底より咲き出で、
箏曲「三日月まんじやらけ」、歌曲「アミの鳥」ほか、劇音楽では
笠井賢一演出の「緑垂紀の蝶」「言魂」など、京都女子大学准教授。

設楽瞬山 都山流尺八奏者として活躍。演奏活動のほか、演
劇や語りの音楽として、演劇的な内容に深く添った表現を実現す
る。代表作に若村麻由美「人芝居」小宰相身投―平家物語によ
る「や「千手」、同じ平家物語による「麻実れいの語り芝居」(女院出
家)の音楽、真野響子「人芝居」(夏目漱石)の音楽など
多数。「言魂」詩歌・舞―石牟礼道子・多田富雄「深き魂の交
歓」に出演。若村麻由美「首根崎心中」(笠井賢一演出)の音楽。

笠井賢一 1949年生まれ。今尾哲也氏(歌舞伎研究)に師事。
劇作、演出家として古典と現代をつなぐ演劇活動を、能狂言役
者や歌舞伎役者、現代劇の役者たちと続ける。「古事記」から
「源氏物語」「平家物語」、近松門左衛門、宮澤賢治と幅広く演
出。新作能では多田富雄作「石仙人」「花供養」白洲正子の
能「石牟礼道子作「不知火」などを演出。『浄瑠璃「不知火」座
―石牟礼道子劇場』を立ち上げ、同時期に立ち上げた「宮澤賢治
劇場」を両輪に演劇活動を続けている。また来年には多田富雄の
新作能「三仙人」を新演出での上演と自作の新作能「空海」の
上演予定。アトリエ花習代表。



石牟礼道子

1927年熊本県天草郡
に生まれる。詩人、作家。
1969年に公刊された
「苦界浄土―わが水俣
病」は文明の病としての
水俣病を描いた歴史的な作品。1973年マガサイ
サイ賞。1993年「十六夜橋」で紫式部文学賞、
2011年朝日賞、2002年「はにかみの国―
石牟礼道子全詩集」で芸術選奨文部科学大臣賞。
新作能「不知火」が東京・熊本・水俣で上演され
た。藤原書店刊行石牟礼道子全集「不知火」が
完結。その後も次々と著書の刊行されるが、20
18年2月10日逝去。これからも世界のレベルで
重要な作家として読み継がれる存在である。

2021年12月5日(日)
14時開演(30分前開場)

鏡仙会能楽研修所

表参道 A4 出口 3分

東京都港区南青山

4・21・29

TEL 03・3401・2285

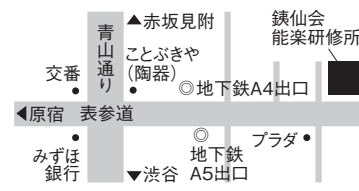
入場料 4000円

(全自由席)

お申込・お問合せ

アトリエ花習

TEL 090・9676・3798



『六道御前』イープラス有料動画配信
この公演を動画配信でもお楽しみいただけます

配信期間 12月15日(水)〜12月21日(火)

販売期間 11月5日(金)〜12月21日(火)

視聴チケット価格 2500円

チケットご購入・視聴について
詳しくはこちらより(11月5日)

https://epus.jp/detail/51253001-P003001

